

ホーム・フォー・ザ・ホリデイ (1995)

HOME FOR THE HOLIDAYS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 104分

初公開日 1996/11/23

公開情報 ヘラルド

【解説】

J・フォスターのこの作品の成功で、私たちはハリウッド映画において数少ない、新作を楽しみにできる作家を獲得したとの確信に至ることとなった。題材は平凡に見えて複雑な一つの家族である。

H・ハンター扮する主人公クローディアはシカゴで美術館専属の復元画家の仕事をしていたが、感謝祭をボルティモアの実家で過ごそうという直前解雇を言い渡される。15歳になる一人娘は、処女喪失の予定を高らかに宣言して、彼女には同行しない。シングル・マザーである彼女は平静を装ってはみたが、内心では穏やかではない。そんな彼女を両親（ダーニングとバンククロフト、この二人のうまさはいまさら言うまでもない）は温かく迎え、独り身を通してボケ始めた伯母（チャップリンが実にいい味を出している）もいつも通り合流し、平凡な結婚をし夫や子供ともどもやり切れないほどの俗人の妹もやってくる。残すはゲイで変わり者の弟（ダウニー・Jr、達者である）だけだが、彼も友人を連れてやがて参加し、そこで、一筋縄ではいかない彼らの休暇は始まる。

脚本がよく練れており、それぞれの役者の個性を知り尽くしたジョディの演出の確かさは無論だが、ラストの感動的な、まさに走馬灯のように思い出をスケッチする、ノスタルジックでありながら新鮮なショットの連なりにこそ、この映画の美点（秀れて感覚的なのだ）は集約されている。嬉しいことに「リトルマン・テイト」は決してボーン・ラックではなかった。

【クレジット】

監督	ジョディ・フォスター	Jodie Foster
製作	ペギー・ラジェスキー	Peggy Rajski
	ジョディ・フォスター	Jodie Foster
製作総指揮	スチュアート・クレインマン	Stuart Kleinman
脚本	W・D・リクター	W. D. Richter
撮影	ラホス・コルタイ	Lajos Koltai
音楽	マーク・アイシャム	Mark Isham
出演	ホリー・ハンター	Holly Hunter
	ロバート・ダウニー・Jr	Robert Downey Jr.
	アン・バンククロフト	Anne Bancroft
	ディラン・マクダーモット	Dylan McDermott
	チャールズ・ダーニング	Charles Durning
	ジェラルディン・チャップリン	Geraldine Chaplin
	スティーヴ・グッテンバーグ	Steve Guttenberg
	クレア・デインズ	Claire Danes
	シンシア・スティーヴンソン	Cynthia Stevenson
	ダナ・カーヴィ	Dana Carvey

シヨーン・ハトシー

Shawn Hatosy

ザック・デュナム

Zack Duham